

在シドニー総領事交流録（第12回）

天皇誕生日レセプション

3月27日

2月26日木曜日に天皇誕生日祝賀レセプションを総領事公邸で開催しました。

昨年は好天に恵まれましたが、今年は生憎の雨天で、残念ながら屋外スペースは使えず、ご来訪のお客様には窮屈な思いをさせていただきましたが、約190名という昨年と同規模のお客様にお越しいただきました。雨天にも拘わらずお越しいただきましたお客様に心より感謝申し上げます。

天皇誕生日の祝賀の機会に日本の魅力をアピールすべく、日本文化をはじめ、当地で活躍されている日本企業及び商品、そして本年は国土交通省北海道局によるアイヌ文化のPRとして伝統楽器の演奏者等の方々にも参加いただきました。

公邸での設営は、雨天も想定した準備を進めてきましたので、現場では混乱なくレセプションが進んだのではないかと思います。公邸が郊外にあるため、街の中心部での交通渋滞で、普段よりも移動に時間がかかってしまい、ご不便をおかけしてしまいました。

祝賀式典自体は日本と豪州の国歌斉唱で始まり、Strathfield Symphony Orchestra の芸術監督である村松貞治さんに、若手演奏家で構成される Sydney Japanese Chamber Orchestra の指揮・演奏をお願いし、ケイ・ヒューソンさんの美しい歌声とともに、素晴らしい演奏を披露していただきました。

その後、私が挨拶をし、主賓のビーズリーNSW州総督の挨拶、そして州首相代理としてのチャンシヴォン州貿易産業大臣の挨拶が行われました。

私からは、本年が日豪友好協力基本条約署名から50周年であることを述べ、今日の緊密な日豪関係に至る先人たちの努力に敬意を表し、茂木外務大臣からの祝辞を代読しました。これに加え、3月に豪州で行われる AFC 女子アジアカップ 2026 についても言及し、日豪両チームがシドニーで決戦に臨むことになることへの期待を述べました（その期待どおり3月21日の決勝戦では両チームが素晴らしい接戦を展開し、日豪関係における大きなイベントとなりました）。ビーズリー総督は、ご主人とともに日本の美意識を高く評価され、ご主人が私邸に日本庭園を造営したいとまで考えられていること、天皇陛下が新年「歌会始の儀」で平和を祈る詩を披露されたことが印象的であったとお話されました。チャンシヴォン大臣からは、随所に日本語を織り込みつつ、昨年の訪日を通じて、日本の「おもてなし」の精神が、多くのオーストラリア人旅行者を惹き付けていることがよくわかったとお話をいただきました。

この他にも、フランクリン州上院議長、パイパー州下院議長、ロバーツ州上院副議長

(日本友好 NSW 州議連共同議長)、スミス・カウラ市長、ブラウン・ライド市長、ブラウン・ウーロンゴン市長、ブラック・ダボ市長、そして経済・文化・芸術界を始め、多くの方々にご出席いただきました。



私からの挨拶



ビーズリー州総督のご挨拶



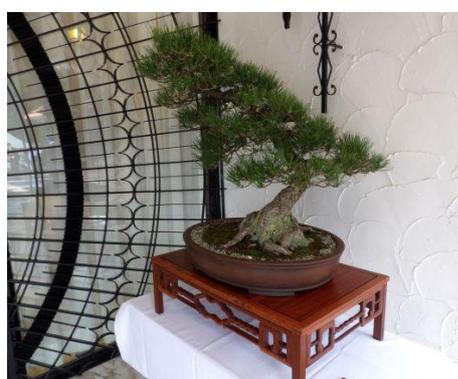
チャンシヴォン州大臣のご挨拶

以上が式典概要ですが、冒頭、日本の魅力のアピールも狙いの一つと申し上げましたので、そのアレンジについてももう少しご説明します。

まずは、玄関先にベネット・めぐみさんによる立派な盆栽、そしてレシービングの屏風の前に「いけばなインターナショナル シドニーチャプター」プラド・ヒロコ会長による華麗な生け花を置き、お客様にご観賞いただきました。



日豪両国旗と「いけばなインターナショナル」による生け花



ベネット・めぐみさんによる盆栽

多目的スペースではアイヌの伝統楽器であるムックリ（口琴）の演奏と、アイヌ文化の披露・説明を行っていただくとともに、国土交通省北海道局から日本政府のアイヌ文化との共存政策について説明する場を設け、先住民族との共存に関心の高い豪州のお客様の関心を呼びました。この他にも4つの日本政府関係機関（JETRO、Japan Foundation、CLAIR、JNTO）が参加し、経済・文化・姉妹都市・観光面での日豪交流の取組を説明していただきました他、聴覚障害の子ども達を支援する当地の非営利団体シェパード・センターにも参加いただき、その取組について説明いただきました。



国土交通省北海道局のブース

また、当地で活躍されている日本企業にも商品の提供や展示をいただき、幅広い分野における日本企業によるNSW州経済への貢献振りをアピールすることができました。アルファベット順でご紹介すると、クーパーズ（サッポロビールを提供）、FUJIFILM（カメラやマンモグラフィ模型の展示、Instax（チェキ）による即時撮影サービスを提供）、ライオン（キリンビール関連会社。キリン一番搾り、氷結を提供）、Nippon Food Supplies（宝酒造関連会社。スパークリング日本酒の滲を提供）、ぺんてる（様々な色を組み合わせた好みのボールペンをその場で作成）、トヨタ自動車（水素燃料電池車の新型クラウン FCEVを展示し、試乗会も実施）の方々で大盛況でした。また、お帰り際には、キッコーマンの刺身醤油・焼肉と焼鳥のたれ、寿司酢・醤油セット、サントリーのBOSS缶コーヒーをお土産としてお渡ししました。

そして、大西悟公邸料理人が準備した料理の提供もハイライトの一つです。まずはアピタイザーとして、サーモンのブルスケッタ及びラタトゥイユ風ブルスケッタを、そして、メインには、ローストビーフ、帆立の昆布和え出汁ジュレがけ、豚の角煮じゃがいも餡、鰻巻き（出汁巻き）、海老の天婦羅が続き、デザートには、フルーツカップ、抹茶バスケットチーズケーキを味わっていただきました。また、お鮭も用意し、お客様をお迎えした次第です。いずれも好評だったようで、各品はあっという間になくなりました。去年の天皇誕

生日レセプションのメニューを踏まえ、大西料理人が長い間考え、準備したかいがあり、日本食の魅力を一層発信できたのではないかと思います。



料理を準備する大西公邸料理人

今回のレセプションは生憎の雨天とはなりましたが、多くの方の参加を得て、盛況のうちに無事実施することができました。その分混雑があったことは申し訳ないですが、お忙しい中お越しいただいたお客様の皆さま、協賛いただいた企業の皆さま、そして御協力いただいた皆さまに、改めて心より御礼申し上げます。